

シン・タテバヤシ
ミライスイッチ!



アグリ・フーズ・ヘルス・アート・デジタルの
最先端大学の創設

shin TATEBAYASHI シン★タテバヤシ

「水と緑のフードバレー・スマートシティたてばやし」プロジェクト



館林・未来責任フォーラム

未来は来るものでなく、創るものである。

「水と緑のフードバレー・スマートシティたてばやし」プロジェクト

シン★タテバヤシ

AI×ビッグデータ×5G時代における
館林市の産業発展と人材育成を考えます。

1. 子どもたちの未来は

子育て世代・働き盛り世代のみなさん、
私たちは、子どもたちのために、どんな未来を創りますか?
それが、今ひとりひとりに問われています。



館林市第6次総合計画の中で、2040年の館林市の人口は6万人以下と推計されています。
もちろん、このような人口減少傾向は全国の地方都市にあてはまります。しかし、館林市は、
県内外の周辺都市と比べて、とてもゆるやかに発展してきました。

2. 未来ビジョン・発展戦略

私は、館林の子どもたちのために、確かな未来ビジョン・発展戦略を考える市民
フォーラムを立ち上げます。
私はこのフォーラムを、館林市の未来に責任をもつという意味で、館林・未来責任
フォーラムと名づけました。このフォーラムのもとで、水と緑のフードバレー・
スマートシティたてばやしプロジェクトを推進していきます。このプロジェクトを
多くの市民の方々に知ってもらうためにその愛称をシン・タテバヤシと決めました。

私は、このプロジェクトを館林市第6次総合計画審議会・経済と都市の部会の審議委員に
提案し、審議会答申書にその概要を個別意見として述べました。その後、これまでの2年間で
館林市議会と教育委員会定例会の全てを傍聴してきました。このたび市民のみなさんに向けて、
このプロジェクトを理解していただくために5回シリーズのリーフレットをつくりました。

3. 魅力あるまちシン・タテバヤシ

みなさんの子どもたちのために、このプロジェクトへのご理解・ご支援をお願い申し上げます。
新しい館林をいっしょに創りませんか？魅力あるまちシン・タテバヤシを！
次回は、シン・タテバヤシプロジェクトについて説明します。

5回シリーズ
第1回

謝辞：この一連のリーフレットのシン・タテバヤシは、安宅和人氏の著書「シン・ニホン」に導かれました。
心から感謝します。ありがとうございました。

館林・未来責任フォーラム 代表

「水と緑のフードバレー・スマートシティたてばやし」プロジェクト（愛称：シン・タテバヤシ）
プロジェクトディレクター

佐藤 聰

374-0005 群馬県館林市花山町 3367-1

tel/fax : 0276-73-6253

mobile : 080-5885-6253

11月にWebサイトを開設予定です。

※館林・未来責任フォーラムは、館林市の健やかな
未来を考えるために活動している任意団体です。

略歴

館林市立第三中学校 卒業
埼玉県立熊谷高等学校 卒業
国立埼玉大学経済学部 卒業
味の素株式会社を経て、17年間父母のガン闘病を介護
館林市図書館協議会委員
館林市環境審議会委員
館林市総合計画審議会委員
「フードバレー・スマートシティたてばやし」PTを
総合計画審議会で提案

SATOSHI SATO

あえて出る杭にならなければ、時代は開かれない。